

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん立花		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ABAセラピストの資格を取得し、個別で、一人ひとりに合ったプログラムを行っている。	個別と集団を組み合わせ、公園遊びでは、身体を動かす遊びを通じて多様な動きを経験し、習得できるように固定遊具を活用した活動を行う。	一人ひとりの発達段階や特性に応じた取り組みを計画し、継続的に実施する。
2	職員が子どもの特性をよく理解し、個別支援計画に基づいた支援を行っている。	定期的なミーティングを実施し、職員間で子どもの特性や支援内容について情報共有を行っている。	職員のスキルアップを目的とした勉強会や研修を増やし、支援の質を向上させる。
3	保護者との連携が密で、こどもの様子を丁寧に伝え、支援に関する相談にも柔軟に対応している。	送迎時や連絡帳、電話などを活用し、日々のこどもの様子や支援内容を伝えている。	保護者向けの個別相談会を定期的に設け、支援の方向性を共有し、より適切な対応を検討する機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内で体のバランスをとる動きや体を移動させる動き、用具などを操作する動きなどができる道具が少ない。	環境構成。過ごしやすく、使いやすい安全な環境を整えたい。	子どもたちが課題などに集中して取り組むことができる環境づくりを行いたい。
2	活動プログラムが固定化しやすい。	限られたスペースや設備の中で活動を組み立てる必要がある。	新しいプログラムを取り入れ、定期的に見直す機会を設ける。
3	保育所や地域の他の子どもとの交流の機会が少ない。	保育所や幼稚園、地域施設との連携がまだ十分ではない。	他施設との協力関係を強化し、地域の子どもと関わる機会を増やす。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみかん立花

公表日 2025年2月28日

利用児童数 25

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2			・集団・個別及び食事のスペースが充分にあると思う。	今後も引き続き整理整頓を心掛け、児童が安心して安全に活動できる工夫を重ねていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2			・毎日安全に外遊びさせていたきており、そう思う。	余裕を持った職員配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1	・子どもが目視で理解できる環境と思う。	今後も引き続き、児童が安心して安全に活動できるように工夫を重ねていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			2	・見学時、清潔と感じた。 ・実際に子どもがどう過ごしているのか見れる機会イベントなどがあれば見てみたい。	保護者の方が活動の様子を見学できる機会を設けていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			・粗大の療育、個別での課題様々な方面から支援していただいている。	個別での療育、集団での療育を継続的に取り組んでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2		1	・みかん通信などを通してそう感じている。	今後も引き続き行っていきます。
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1		1	・ニーズにふまえた成長段階に合わせた計画であると思う。 ・理解はすぐしていただいている。 ・面談を通して子どもがいつもの様に過ごしているかを共有し、とても分かりやすく、子どもにも説明しやすい支援計画を作成される。	1人ひとりに合わせ、担当する職員を決め、子どもの特性や発達に応じた支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援カイトタイプの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1		3	・親が考えるざっくりとした考えを整理して必要な支援が提供されている。	今後も、保護者の方と情報を共有し、必要な支援を客観的に判断し、提供していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1		1	・短期目標、長期目標を基本とし柔軟に支援が行われている。	計画に沿って支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3		2	・支援記録を見て、そう思う。	個別、小集団などさまざまなプログラムを取り入れています。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8		3	9	・公園で地域の子どもたちと交流されている様子。保育所等は分らない。	公園で他園の子どもと関わる機会がありますが、今後、地域活動の機会を設けることを検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2			・契約時に十分説明があった。	質問等があった場合は、丁寧に説明し、理解していただけるよう努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1	・しっかり説明を受けた。	今後も、保護者の方に寄り添いながら、分かりやすく説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	3	5	・みかん通信にてペアトレ等の情報にも触れられており、参考になっている。	今後も、みかん通信等を通じて情報を提供していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19		1		・左記通り	今後も、保護者の方とお子さまの状況などを共有し、理解を深めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1		・送迎時にあり。	気になることは電話等で伝え、幼児期に大切なことを配布物などを通して発信していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	1		・送迎時にあり。	課題や特性に関する姿の事実を伝えつつ、肯定的な言葉で支援を行っていきます。
	18	文母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	7	8	・利用して間もない為、よく知らない。 ・兄弟がいないのでわからない。	今後、保護者間の交流の機会について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3		3	・計画的に行われている	今後も引き続き、相談や申し入れに迅速かつ適切に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2			・LINEや電話にてすぐ相談等できる環境にある。	今後もすぐ相談できる環境を整備していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	2	1	・ホームページを拝見しておらず分からない。	毎日の様子の写真を送ったり、通信で療育の視点を発信していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2	1		・十分に留意されている。	今後も個人情報の適切な取扱いを徹底していきます。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			4	・契約時に十分な説明があったと思う。	契約時に説明を行っています。今後も分かりやすく対応していきます。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		9	・あまり知らない。	地震・火災・水害と分けて訓練を行うようになっています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2	・契約時に説明があった。	契約時に説明を行っています。今後も分かりやすく対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	3	・軽いけがでもすぐに連絡がある。	今後も迅速に事故等が発生した際は、説明を行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・親子ともども安心して通えている。	児童が安心して安全に活動できる工夫を重ねていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			・利用児の笑顔の写真を見て、そう思います。 ・みかん行く日と伝ええると、嬉しそうな顔をし、前を通ると「みかん!!」と嬉しそうに言っている。 ・前日頃からお友だちのお名前を言って楽しみにしている。	個別、小集団など多様なプログラムを取り入れていきます。季節に合わせたプログラムも考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				・何より、毎日お外遊びをして下さっている事が嬉しいです。家庭でも出来ることが日に日に増えています。意思疎通が容易に図れることも、安全面で特に助かっています。 ・子どもが嬉しそうで、成長も見られて満足です。 ・楽しそうに通所し、療育で学んだことを幼稚園で発揮しているようで先生にも褒めていただきました。 ・季節に合わせた制作をしたり公園に行ったりして楽しんでいる。安心して預けています。	今後も児童が安心して安全に活動できる環境を整え、一人ひとりに合わせたプログラムを提供していきます。季節に合わせた活動も検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみかん立花			公表日		2025年2月28日			
		チェック項目		はい		いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8			場合によっては、パーテーションを使い、個別課題や癩癩の対応を行っている	今後も引き続きスペースの確保を考え、整理整頓を行い、場面に合わせて環境設定を行っていきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8			子どもの特性や育ちに応じて職員を配置している	引き続き行う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8			パーテーションや、マットなど引いて、分かりやすく構造かしている。	引き続き行う。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	1		生活空間に空気清浄機を設置したり、1時間おきに換気を行っている。	引き続き行う。個別スペース等の確保を検討し、必要な環境を整備する。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	2		現在は、パーテーションを使用し、個別の場所を作っている。	クールダウンスペースの整備を進め、より落ち着いて過ごせる環境を整える。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		8			行っているが、参加している職員が決まっている。	今後は、より多くの職員がPDCAサイクルに参画できるよう工夫する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8			保護者等の意向等を把握する機会を中心となる職員に設けている。	職員間での意見共有の機会を増やし、業務改善につなげる取り組みを強化する。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8			日々の業務の中で、話し合い、意見を把握する機会を設けている。	今後も引き続き行っていきたい。		

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	よくわからない。	今後も検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	研修に参加する職員が限られている。	障害への理解、指導力向上、職員の質の向上のため、定期的な研修の機会を確保し、より多くの職員が参加できる体制を整える。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		個々に合った個別課題、メンバーや天候に応じた療育内容になっている。	今後も引き続き行う。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		アセスメントを行い、客観的にニーズを分析し、支援計画を作成している。	今後も引き続き行う。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当者、児童発達管理責任者、出勤している職員全員で子どもの事を考え、検討している。	今後も引き続き行う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画に沿って支援が出来るか常に職員全員で確認していきます。	引き続き行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			引き続き行う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		行っている。	今後も引き続き行う。

提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		プログラムの立案者のかたよりがあるので、話し合い、意見を出し合ってプログラムを決めている。	今後も引き続き行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			活動プログラムのマンネリ化を防ぐため、新たな取り組みを検討し、柔軟な支援計画を構築する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している。	引き続き行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ホワイトボードなどを使用し、打ち合わせをし、役割分担を確認出来るようにし、連携して支援を行っている。	引き続き行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	・その日もあれば別日で情報共有ノートなどで共有している	支援終了後の振り返りを徹底し、職員間の情報共有を強化する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録を取る	引き続き行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	引き続き行う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当者が参画している。	引き続き行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		整えている。	引き続き行う。

26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	行っている。	小学校や特別支援学校との支援内容の情報共有を強化し、就学移行支援を充実させる。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		8	よくわからない。	今後は、取り組んでいきたい。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				今後は、検討していきたい。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				今後検討していきたい。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				今後も続けていく。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	7	よくわからない。	今後検討していきたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流などはない。公園活動で他の園や地域の子どもと少し関わる事はある。	今後も続けていく。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	送迎時や電話等でこまめに伝えている。	今後も続けていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	あまりできていない。	今後検討していきたい。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		行っている。	今後も続けていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		行っている。	今後も続けていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		説明し、同意を得ている。	今後も、丁寧に説明し、行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		行っている。	今後も引き続き行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	交流を目的とした場は設けていない	今後は、検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		対応を行っている。	引き続き行う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		みかん通信などの発信を行っている。	今後も続けていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		配慮している。	引き続き行う。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	特に行っていない。	今後検討していきたい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		確認している。	引き続き行う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	行っている。	引き続き行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		行っている。	引き続き行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		行っている。	職員の研修機会を増やし、虐待防止に関する知識の向上を図る。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		行っている。	引き続き行う。	